

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28計画
① 使用料・手数料の見直し業務	使用料・手数料見直しについての庁内会議	開催回数	回			2	2
② 広告料導入に関する業務	広告導入件数	導入件数	回	4	4	12	12
③ ふるさと寄附金に関する業務	市HP、物産イベント等での周知	通知回数	回	11	13	22	16
④							
⑤							

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H25目標	H26目標	H27目標	H28目標
			H25実績	H26実績	H27実績	H28計画
1 自主財源確保額	広告導入に伴う支出不要となった削減額+ふるさと寄附金額	千円	2,000	2,500	4,500	5,000
			2,986	3,618	3,831	
2						

《事務事業の評価》

評価項目		評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定) A	実施主体の妥当性【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	確保可能な自主財源が失われる。
	目的の妥当性【21】	税金を使って達成する目的か。また、市民ニーズの低下により役割が薄れていないか。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	
	廃止・休止の影響【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響あり <input type="checkbox"/> 影響なし	
有効性 (判定) C	目標の達成度【23】	成果指標の目標値は達成できたか。	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成	ふるさと寄附金事業に関し、お礼品の品目を増やし寄附額の拡大を図ったが、想定していた効果を得ることが出来なかった。
	成果向上の余地【24】	成果がもっと上がる余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地あり <input type="checkbox"/> 余地なし	
	上位施策への貢献度【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分	
効率性 (判定) A	コスト低減の余地【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	民間の活用の余地【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	執行方法改善の余地【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	事業統合の余地【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
公平性	受益者負担の余地【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	

《今後の方向性と改善》

今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小を検討 <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討 <input checked="" type="checkbox"/> 細事業の効率化【 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 民間活用 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> 廃止 】
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	<p>・ふるさと寄附金⇒ふるさと寄附金に全国的な注目が集まる中、制度の本市PRへの活用、寄附額の増加を達成するためにも、お礼の品の拡充等を通して、玉名の魅力がより伝わるような方法を検討する。また、それが寄附を行いお礼の品をもらって終わりという一過性のものにならないよう、体験型のプランなど実際に玉名に足を運んでもらえるような取り組みへの検討を行う。</p>
昨年からの見直し・改善状況【32】	<p>・広告入り公用共通封筒の導入と私有資産の広告媒体としての活用について会計課、管財課とそれぞれ協議を行った。</p> <p>・ふるさと寄附の寄附者へのお礼の品に農産物を追加した。また、寄附者の利便性や、満足度の向上のためH28から事業の一部を民間業者に委託するため、プロポーザルにより業者を決定した。</p>

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見【33】	平成28年度以降の普通交付税の削減や公共施設の維持・更新により大幅な財源不足が見込まれるため、自主財源を確保し、健全な財政運営について取り組んでいく必要がある。特に、ふるさと寄附金については、業務委託することにより、新たな寄附者層に本市をPRし、寄附金額の増加を図る。	評価責任者 宮本圭一郎
------------------	--	----------------